

第 3 回 高遠町地域協議会会議録

開催日	令和 3年 11月 9日 (火)					
開催時間	開 会	午後 6時 28分	閉 会	午後 7時 09分		
開催場所	高遠町総合福祉センター2階会議室					
委員の出欠 出席 15名 欠席 5名	番号	委員氏名	出欠	番号	委員氏名	出欠
	1	北原 敏久	欠	11	菅 修一	欠
	2	廣瀬 源司	出	12	福澤 初子	出
	3	北原 潔	出	13	北原 世津子	出
	4	守屋 浩子	出	14	赤羽 正彦	出
	5	伊藤 岩雄	出	15	浦野 真吾	欠
	6	西村 博	出	16	大塚 治男	出
	7	小松 恵利子	出	17	山岸 加代子	出
	8	保科 浩一	出	18	矢野 貴直	出
	9	竹内 学	出	19	蜷川 清人	欠
	10	伊藤 総子	欠	20	北原 正崧	出
署名委員	14番	赤羽 正彦		17番	山岸 加代子	
委員以外の出席者 出席 8名	高遠町総合支所長 山崎大行、同総務課長 柴田妙子、同農林建設課長 松島裕司、 商工観光部高遠商工観光課長 山下 隆、高遠町総合支所総務課総務係長 田辺恵一、 同総務課主査 伊藤智美 伊那市議会議員 飯島 進、宮原英幸					
会議事項	協議事項 (1) 委員提案 ア「板山地籍に設置された看板」に関わる件について (2) 高遠町地域協議会委員構成について その他 (1) 次回日程について					
会議提出資料	1 「板山地籍に設置された看板」に関わる件について 2 高遠町地域協議会委員構成について				【資料1】 【資料2】	

1 開会（午後 6 時 28 分） 進行 西村副会長

2 あいさつ 伊藤会長
山崎支所長

3 欠席委員の報告 1 番 北原 敏久 委員 10 番 伊藤 総子 委員 11 番 菅 修一 委員
15 番 浦野 真吾 委員 19 番 蛭川 清人 委員

4 会議録署名委員の指名

会議録署名委員に「14 番 赤羽 正彦 委員」「17 番 山岸 加代子 委員」を指名

5 協議事項

(1) 委員提案

ア 「板山地籍に設置された看板」に関わる件について 4 番 守屋 浩子 委員

提案については、委員提案書のとおりであるが、その他として、小豆坂トンネル内の雨漏り対策の工事が継続して行われていること、荊口の栗の木立沢の地すべりも、まだ解決した問題ではないが、そのことがあって川の水が濁っているという実態を知っていただきたい。

（事務局）今回提案された件の看板については、一般社団法人伊那市観光協会が設置したものであり、設置の経緯について観光協会から資料のとおり回答が示されている。

（高遠商工観光課長）入笠山は身近な高原として親しまれており、最近ではジオサイトとして、学習の場としても活用される貴重な観光資源と認識している。また、映画やCMのロケ地としても多数利用されている。入笠山の観光振興を図ることを目的として、伊那市、富士見町、旅館組合、JA上伊那で組織する入笠山観光連絡協議会で景観の保全、登山道整備、防護柵・案内看板の設置等の取り組みを行っている。入笠山の一番の強みは、四季折々の美しい自然である。伊那市側には入笠牧場の機能もあり、自然環境を維持しながら、安全で心地よいひと時を過ごしていただけるような、自然環境を生かした観光振興に努めていきたい。

（農林建設課長）入笠山へのアクセス道路については、観光利用や森林資源の搬出等に利用される千代田湖経由のルートを計画的に整備している。林道千代田湖枯木線は平成 23 年から令和 6 年まで、市道中央高峰線は今年度まで、引き続き芝平峠から入笠山方面の市道入笠線の舗装改良を計画している。三義経由のルートの市道入笠線は落石や崩落等がある場合には、随時修繕を主体にした対応を行っている。舗装の新設については、多額の費用を要することもあり、現在予定はない。県道芝平高遠線は、三義郵便局から荊口地籍の間の狭い区間の道路幅員を県に対して要望しているが、地域の声を聞きながら引き続き要望を続けていきたい。県道芝平高遠線及び市道入笠線は、道路幅員が狭い箇所が多く、現状では交通量の増加は望ましくない状況と考えている。

（総務課長）携帯電話基地局の設置は、各携帯電話事業者が行うものであり、市が積極的に推進することは考えていない。また、市では、基地局設置事業者に対して、携帯電話基地局設置に関し、地域住民に対する情報提供及び周知に配慮いただくよう書面で依頼をしてくれている。地区の総意として基地局設置を要望することになれば窓口として対応するが、過去に事業者と住民とのトラブルが発生したケースもあるので、関係する地域住民の皆さんの意見をよく聞くことが必要と考える。

（委員）交通量が多ければ修繕するという考えか。

（農林建設課長）現在では千代田湖経由のルートを整備しており、それもまだしばらく続く。県道関係の幅員は条件が揃ってくれば考えていかなければいけないと認識している。

（委員）千代田湖経由を先にとすることはわかるが、従来だと三義から上がっていく道が常だった。三義の方から登っていく道も、舗装とは言わないが、今まで以上に整備をしていただきたいと思う。それから、携帯電話基地局について、住民とのトラブルが発生したケースがあるというのは、おそらく、移住してきた方で、地元の人ではないと思う。設置するのであれば地区の人達がしなければならないが、それを含み

おいていただきたいと思う。

(総合支所長) 要望としてお伺いし、携帯電話基地局の方も十分含んでおく。どうしてもこの道路を改良してほしいというところがあれば、地区要望等で上げていただくということも一つの方法と考える。

(委員) 道の説明をしてほしい。

(農林建設課長) 入笠山のパンフレットをご覧いただきたい。千代田湖から上がってきて、キャンプ場と書かれている辺りまでが林道千代田湖枯木線、その続きの芝平峠までが市道中央高峰線、芝平峠から入笠牧場に向かって市道入笠線となる。

(委員) この看板は芝平峠にも設置してある。伊那市観光協会としての設置だが、道路管理者と相談した上で設置したのか。入笠へ行くのは伊那市からだ長谷村経由で小黒川から登っていくルート、三義経由のルートと、千代田湖経由のルートがある。今長谷からのルートは全く通れず復旧の見通しが立っていない。そうすると、ちゃんと使えるルートが2つないとまずいので、芝平から芝平峠の間について、多少荒れており通れないわけではないが、より積極的に整備してもらえればと思う。

(高遠商工観光課長) 入笠山へ行かれる方が観光客という位置づけであることから、観光協会で見板を設置したもの。

(農林建設課長) 看板を設置するにあたって話があった。観光客のマナーがあまり良くないということから観光協会で見板を設置する結果となった。

(総合支所長) 道路管理者には協議があり、承知の上で、観光客のことなので観光協会が出したもの。

(委員) 芝平峠経由より千代田湖経由で行ったほうが時間的には短く済むので、わざわざ遠回りの方を舗装するのが難しいのは仕方がないことと思う。携帯電話基地局に関して、電磁波過敏症という病気を患っている方が携帯電話の電波が届かないところを探してここに来ているという事情もある。地元の方たちから携帯圏外の問題について、基地局を立ててほしいというような要望があがっているのか。

(総務課長) 現状では地元からそういった要望はない。過去にこういったトラブルが、高遠地区だけではなく伊那市内でもあった。毎年この件については、市の区長会から区長の皆さんに、トラブルにならないようお願いをしている。

(委員) 長藤区会でこの協議内容を話題にしたところ、区長、区長代理、看板設置個所の地元の板山総代が、この看板の存在を知らなかったということがあった。地権者なりに説明があったのか。

(高遠商工観光課長) この看板は一つは板山の市道の一角に設置し、もう一つは芝平峠の頂上、合計2か所に設置してある。地元の方の了解を得ているかどうかははっきりした経過がわからないので、観光協会へ確認する。

(委員) 個人の土地に立っているのか。

(商工観光課長) 市道沿いであり、個人の土地には立てていない。

(会長) 市でも今出た意見を真摯に受け止めていただき、対応をお願いしたい。

(2) 高遠町地域協議会委員構成について

(会長) 現在の委員は令和4年3月で任期が終了となる。新しい委員の選出の時期に合わせて、委員構成を見直してきており、構成が少しずつ変わってきている。今回も皆さんのご意見をお聞きしたい。

(総務係長) 委員の皆さんそれぞれ各種団体の推薦をいただいて選出されている。次期委員の選出依頼を12月中に各団体へ通知を発送する計画でいる。今回の改選にあたり各種団体等の委員構成についてどのようにしたらよいか、皆さんからご意見をお伺いしたい。委員の選出にあたっての課題として、地域協議会での議題が地域へ伝わりにくいことがあるという点、これは区長会から区長会長さんお一人が地域協議会の委員として出られている。また、充て職で選出されている場合、選出団体の職の任期が終了すると、地域協議会では任期途中で交代となる。区長会長や学校PTA、保育園保護者会等が1年交代で役員が変わるということで、地域協の委員も途中で交代となる。これらを踏まえて、こんな団体を入れたらどう

かというご意見があればお寄せいただきたい。今の規約で、委員定数は20名以内と定められている。新しい団体を加えた場合定数を超えることとなるが、規約を改正して委員定数を増やすことも可能。11月中旬に事務局へご意見をお寄せいただき、12月に地域協議会を開催し、そこで選出団体を確定し、年内に次期委員の選出依頼通知を各団体へ発送したいと考えている。

(委員) 他の地域の地域協議会の委員任期は2年か。

(総務係長) すべて2年。

(会長) この場で決定するのも難しいと思うので、委員構成についてご意見があれば11月いっぱいくらいにお寄せいただきたいがいかがか。

～異議の声なし

(会長) 意見ある方は事務局までお寄せいただきたい。

(総合支所長) 地域協議会は現在20名という定数でお願いをしている。合併後は15名の委員で地域協議会を運営していた。団体を増やすばかりではなく、減らすという声があってもいいのでは。協議会として多くの方の意見をお聞きして話をまとめていくのがルールだが、あまり多い人数でも会自体の話がまとまらなかったりということも考えられる。協議する内容がたくさんあれば、多くのメンバーにして分科会に分けてそれぞれ項目に合った内容で協議していただくのも一つの方法かとも考える。その辺も含めてご意見を頂戴できればと思う。

6 その他

(1) 次回日程について

(会長) 次回はふるさと創生活動支援金の審査をお願いする。12月中旬頃には開催したいと考えている。委員提案は11月30日(火)までに提出をお願いしたい。

7 閉会(午後7時09分)